

# 病院を受診された患者さまへ

北海道大学では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

第 1.2 版

作成日 2022 年 12 月 1 日

研究課題名 (研究番号)	菌血症に関する抗菌薬早期効果判定モデル作成と多角的解析研究：多施設共同後ろ向きコホート研究
北海道大学の 研究責任者 (所属)	北海道大学 環境健康科学研究教育センター 岩田啓芳
他の研究機関および 各機関の研究代表者	横浜市立大学ヘルスデータサイエンス専攻 金子惇 東京慈恵会医科大学 臨床疫学研究部 青木拓也 札幌北辰病院 総合診療科 若林崇雄 大原総合病院 総合診療科 菅藤賢治 神栖済生会病院 内科 濱田修平 東京高輪病院 感染症科 鎌田啓佑 横浜保土ヶ谷病院 総合診療科 西江龍太郎 聖隷浜松病院 総合診療科 本田優希 洛和会音羽病院 感染症科 井村春樹 鳥取県立中央病院 総合内科 遠藤功二 愛媛県立中央病院 感染症科 本間義人 長崎医療センター 総合内科 永井友基
本研究の目的	菌血症を罹患された患者さんにおける抗菌薬の効果や余命などに与える因子など、菌血症に関する様々な臨床的影響を調べます。
研究実施期間	研究機関の長の許可日から 2027 年 3 月 31 日まで
調査データ(該当期間)	2018 年 1 月 ~ 2022 年 3 月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	対象となる患者さま 2018 年 1 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までに、血液培養が陽性でかつ菌血症に罹患し、入院加療を受けた患者様 利用する試料・情報 診療録(カルテ)を使用し、入院された患者様の身長・体重・基礎疾患などの入院時の基本情報から、使用した抗菌薬や原因細菌など入院時の医学的な状態さらには、入院後の治療経過や退院に至るまでの経過・転帰に関する情報を解析致します。

<p>試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法</p>	<p>当研究のコホートデータは、対象となる患者様とし匿名にて登録された情報と致します。共同研究病院で収集したデータは、UMIN(大学病院医療情報ネットワーク)のサービスを使い、個人の特定につながらない状態に加工した情報をやり取りします。最終的に集積したデータはパスワード機能を用いた外部記録デバイス(USBなど)を用いて北海道大学・共同研究病院間で移動を行います。データは北海道大学並びに共同研究病院で解析予定です。</p>
<p>試料・情報の二次利用</p>	<p>二次利用の可能性があり、その際には各機関のホームページもしくは院内提示版等で告知を行う。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>この研究において対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化致します。論文作成時、学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いません。また、同意の範囲外において情報の利用を行うことはありません。対応表は各病院の責任が保管し、機関の間で対応表の授受は行いません。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>申告すべき利益相反はございません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>電話：045-787-2311 担当者：横浜市立大学ヘルスデータサイエンス専攻 金子淳</p>
<p>備考</p>	<p>研究代表者岩田が2022年10月より琉球大学より北海道大学に移動しております。琉球大学から以前告知した研究と同一の研究・内容です。横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センターの患者さんは本研究の研究対象者ではありません。</p>